

令和 7（2025）年度 年報

- 企画展
 - ・生誕 110 年 濱谷浩展 人間と風土をみつめて
 - ・これってこわい？
 - ・梶田半古から古径・土牛へ
 - ・どうぶつえんへいこう！
- 教育普及事業
- 作品収集・保管・管理事業
- 調査研究事業等
- 広報活動等

(1) 企画展の概要

展 覧 会 名：生誕 110 年 濱谷浩展 人間と風土をみつめて

会 期：令和 7 年 3 月 22 日（土）～ 6 月 22 日（日）83 日間
開 催 内 容：上越市ゆかりの写真家・濱谷浩は、雪国の風土と人々の暮らしを民俗学的な視点から記録し、戦後ドキュメンタリー写真の先駆けとして写真史に名を残した。本展では、所蔵品から「雪国」や「裏日本」、「地の貌」などのシリーズを年代順に展示し、写真表現の変遷と濱谷の人生を紹介した。また、写真機材やゆかりの品々など関連資料も合わせて展示した。

主な展示作品：《歌ってゆく鳥追い（『雪国』より）》、《田植女（『裏日本』より）》、《終戦の日の太陽》、《小林古径（『学藝諸家』より）》、《エヴェレスト山（『地の貌』より）》（すべて小林古径記念美術館蔵）

協 力：濱谷浩写真資料館

そ の 他：・「展覧会図録「濱谷浩展 人間と風土をみつめて」A5判、128 頁、カラー、1,000 部（頒布価格 1,800 円）を作成した。
・観覧会期間のうち 4 月 1 日から 13 日まで開館時間を午後 7 時まで延長した。

担 当 学 芸 員：市川高子・伊藤舞実



(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	3,057 人	3,791 人	6,848 人
幼・小・中・高	26 人	270 人	296 人
計	3,083 人	4,061 人	7,144 人

・有料入館率：43.1% 来館者満足度：99.2%

《展示作品リスト》

※所蔵者の記載のないものはすべて小林古径記念美術館蔵

作品名	撮影年	撮影地
■ 1 写真家を志す		
「善の鏡」の前の自画像	1936年夏	東京・浅草
並木通りの花売り娘	1935年	東京・銀座
クリスマス・イブの酔客	1936年	東京・銀座
フロリダ・ダンスホール	1935年	東京・赤坂
東京茶房の喫茶ガール	1935年	東京・銀座
笑の王国、出の前、常磐座	1938年	東京・浅草
占い師のおばさん、雨の日も風の夜も	1938年	東京・銀座
《雪国 越後》		
雪雲襲来	1955年	新潟市寄居浜
記録的な豪雪	1945年2月26日	新潟・高田
雁木下をゆくゴゼ	1956年	新潟・高田
雪季市	1956年	新潟・十日町
草鞋を売る人	1956年	新潟・十日町
配管工事現場の交通整理	1960年	新潟
縮の機仕事	1958年	新潟・小千谷
越後のオカカ	1956年	新潟・出雲崎
母と子	1956年	新潟・十日町
民家	1956年	新潟・出雲崎

〈雪国 桑取谷〉		
村の全景	1940-1946年	新潟・桑取谷
小正月の若木迎え	1940-1946年	新潟・桑取谷
小正月の餅つき	1940-1946年	新潟・桑取谷
太刀をつくる	1940-1946年	新潟・桑取谷
村の子ども	1940-1946年	新潟・桑取谷
鳥追いに出る	1940-1946年	新潟・桑取谷
歌ってゆく鳥追い	1940年	新潟・桑取谷
太刀をもつ子	1940-1946年	新潟・桑取谷
フレゴト	1940-1946年	新潟・桑取谷
サイノカミのタイマツのうち合い	1940年	新潟・桑取谷
小正月十六日朝の祝餅	1940-1946年	新潟・桑取谷
終戦の日の太陽	1945年8月15日	新潟・高田寺町(宮崎俊英氏蔵)
終戦の日の午後	1945年8月15日	新潟・高田寺町(田村勝治撮影)
〈學藝諸家〉		
小林 古径	1949年	東京
小田 嶺夫	1947年	新潟・高田
棟方 志功	1951年	新潟・大潟
堀口 大學	1947年	新潟・高田
小杉 放菴	1946年	新潟・赤倉
上村 松園	1944年	京都
滝口 修造	1937年	東京
坂口 安吾	1954年	新潟
安部 公房	1982年	東京
佐藤 春夫	1955年	東京
■ 2 フォト・ドキュメントの実践—日本から世界へ		
〈裏日本〉		
津軽の男	1955年	青森・中里近郷
雪道をいそぐ女	1955年	青森・今別付近
海苔採り	1955年	秋田・男鹿半島椿
苗代	1955年	新潟・三郷
田植女	1955年	富山・白萩
田の草とりの女たち	1955年	島根・松江近郷
稲刈り	1955年	山形・酒田付近
山の湯治場	1957年	青森・谷地温泉
赤子を背負った子	1955年	青森・大平
〈見てきた中国〉		
本を読む子ども	1956年	広州
永安百貨公司	1956年	上海
土埃に暮れる街	1956年	蘭州
鍛冶屋の親子	1956年	ウルムチ
満月	1956年	ウルムチ
国慶節行進の訓練と老人	1956年	北京
〈AMERICAN AMERICA〉		
Boston	1967年	マサチューセッツ州ボストン
Cape Cod	1967年	マサチューセッツ州ケープコッド
Jacksonville ; Used Car Dealer.	1967年	フロリダ州ジャクソンビル
Pecos ; Fruit Shop.	1967年	テキサス州ペコス
Terlingua, Ghost Town.	1967年	テキサス州ターリングア
El Paso ; Mexican Border.	1967年	テキサス州エルパソ
Butte	1967年	モンタナ州ビュート
Cicago	1967年	イリノイ州シカゴ
〈怒りと悲しみの記録〉		
警官と対峙する安保反対の学生	1960年	東京・首相官邸前
激突への誘い水となった放水	1960年6月15日	東京・国会議事堂前
安保反対闘争で犠牲となった樺美智子さん	1960年6月15日	東京
安保反対闘争のデモ行進	1960年6月22日	東京

■ 3 自然との対峙・人間への回帰

〈昭和女人集〉

家庭電化は主婦の生活を変えた	1962年	大阪・茨木
個性時代の個性派、山口はるみさん	1975年	東京
越中家力彌姐さん	1976年	新潟・古町
真面目な地方公務員、桂野奈知子さん	1977年	山形
トロピカルバーのカクテルタイム	1979年	東京・六本木

〈昭和男性諸君〉

蛸をとってきた漁師	1966年	青森・竜飛
花時の茶店でトコロ天を食べる二人連れ	1968年	京都・高雄
歌舞伎町のサンドイッチマン	1978年	東京・新宿
リヤカー引く男と愛犬	1987年	東京・銀座
昭和天皇崩御の日	1989年1月7日	東京・皇居前

〈地の貌〉

レッドウッド樹林	1967年	アメリカ・カリフォルニア
キャニオンランド浸食台地	1978年	アメリカ・ユタ
岩石海岸	1973年	アイルランド・アラン島
ヴェストマナエヤル火山噴煙	1973年	アイスランド
ルイーズ湖	1973年	カナダ・アルバータ
アルプス植物群	1973年	スイス・アルプス
エヴェレスト山	1974年	ネパール・クンブヒマール
ミドガード氷河	1976年	グリーンランド
ルメール海峡に迫る岩峰	1978年	南極
アマゾン川雷光	1978年	ブラジル・マナウス
グレートウェスタン・エルグ	1979年	アルジェリア・サハラ

■ 4 女人暦日

＜女人暦日＞

降り積む雪	1948年	新潟・高田
迎え火	1948年	新潟・高田
行水	1948年	新潟・高田
しんし張り	1948年	新潟・高田
かしら文字	1949年	新潟・高田
拝見	1950年	新潟
かごめかごめ	1949年	新潟・高田

＜妻・朝との日々＞

會津八一先生撮影のあと	1947年4月11日	新潟・寄居浜
兩人の結婚を応援	1948年2月29日	新潟・高田
結婚の後 披露宴会	1948年5月9日	新潟・高田(桑原甲子雄撮影)
週刊誌グラビア頁のため熱海でライカ・アストロ640mmで特写	1956年4月	熱海(平川嗣朗撮影)
個展「HAMAYAS JAPAN」のため夫婦でニューヨーク入り、 アンドレケルテス邸に招かれる	1969年1月	ニューヨーク(久保田博二撮影)
「濱谷浩写真体験50年記念の宴」で挨拶	1981年6月8日	東京・帝国ホテル(飯田隆男撮影)
妻・朝8日入院、24日手術、結果不良	1985年7月3日	神奈川・東海大学伊勢原病院(野町和嘉撮影)
7月6日、妻朝 従容として74歳の生を終わる、納棺密葬	1985年7月8日	神奈川・大磯自宅
亡妻供養のためガンジスの旅	1986年12月24日	インド・リシケシ(多田亜生撮影)

〈エントランス／ホール〉

城址公園の花見の宴	1951年	新潟・高田
ホンヤラ洞で歌う子どもたち	1956年	新潟・十日町

資料名	年代	所蔵者等
-----	----	------

■ 関連資料

カメラ (LEICA M3)		濱谷浩写真資料館
二眼レフカメラ (Yashica-44)		濱谷浩写真資料館
二眼レフカメラ (AIRES)		濱谷浩写真資料館
航空撮影用カメラ (LINHOFF)		濱谷浩写真資料館
照度計 (WESTON MASTERⅢ)		濱谷浩写真資料館
サングラス	1940年代	濱谷浩写真資料館
マグネシウム発光器	1940年代	濱谷浩写真資料館
防火手袋(濱谷朝手製)		濱谷浩写真資料館
三脚	1940年代	濱谷浩写真資料館

三脚袋	1940年代	濱谷浩写真資料館
濱谷浩『雪国』	1956年	齋藤俊幸氏寄贈
『ホーム・ライフ』	1936年3月号	濱谷浩写真資料館
『ホーム・ライフ』	1937年3月号	濱谷浩写真資料館
『グラフィック』	1939年3月1日号	濱谷浩写真資料館
ゴゼ撮影ブロン	1940年5月	濱谷浩写真資料館
「濱谷浩寫真作品展覧会 昭和二十年豪雪記録」芳名録	1946年1月	濱谷浩写真資料館
「濱谷浩第二回寫真作品展覧会 越後の七人の藝術家を撮った寫真による」リーフレット	1947年7月	濱谷浩写真資料館
濱谷浩「雪の高田」絵はがき	1955年頃	
『福縁随處』	1947年7月	濱谷浩写真資料館
笠原家 アルバム	1945年頃	笠原裕幸氏
市川信次宛 寄せ書き	1943年2月20日	市川美喜恵氏
濱谷浩 日記	1945年	濱谷浩写真資料館
濱谷浩 日誌	1945年、1946年	濱谷浩写真資料館
宇野三吾 茶碗 銘「野分」		市川美喜恵氏
『白雲牒』	1944～1988年	濱谷浩写真資料館
濱谷浩『學藝諸家』	1983年	
マグナム・フォト 記者証		濱谷浩写真資料館
マグナム・フォト 報道用ヘルメット		濱谷浩写真資料館
マグナム・フォト 腕章		濱谷浩写真資料館
濱谷浩『怒りと悲しみの記録』	1960年	
『LIFE』	1962年12月号	濱谷浩写真資料館
濱谷浩宛小田巖夫書簡(『雪国』発刊について)	1956年4月24日	濱谷浩写真資料館
濱谷浩宛 堀口大學はがき(受賞について)	1956年5月23日	濱谷浩写真資料館
濱谷浩宛 堀口大學書簡	1948年1月9日	濱谷浩写真資料館
濱谷浩宛 坂口謹一郎はがき	1990年	濱谷浩写真資料館
堀口大学「高田師走初」		濱谷浩写真資料館
小田巖夫「結び目の」	1948年5月	濱谷浩写真資料館
會津八一書「寸雪」		濱谷浩写真資料館
棟方志功書「写楽 寸雪」	1952年	濱谷浩写真資料館
濱谷朝 手製袋		志賀重雄氏寄贈
濱谷朝『女人日日』	1985年	濱谷浩氏寄贈
濱谷浩「裂古破今」(展示：3/22～5/16)	1955～1970年	宮崎俊英氏寄贈
濱谷浩「七事隨身」(展示：5/17～6/22)	1955～1970年	宮崎俊英氏寄贈

作家名	作品名	材質・技法	制作年(和暦)	寸法(cm)	形状	所蔵者等
■ 古怪記念室「春から夏へ」						
【本画】						
小林 古径	鳩	絹・彩色	1927年(昭和2)	116.0×41.7	軸装	久保田洋子氏寄贈
小林 古径	朝顔	絹・彩色	1928年(昭和3)頃	119.5×36.1	軸装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径	翠色	紙・彩色	1917年(大正6)頃	148.4×48.1	軸装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径	翡翠	絹・彩色	昭和時代初期	40.7×50.4	軸装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径	牡丹	紙・彩色	1951年(昭和26)	59.0×76.4	軸装	
小林 古径	めうか	紙・彩色	1943年(昭和18)頃	28.0×34.0	軸装	
小林 古径	鵲鴿	紙・彩色	1943年(昭和18)頃	27.6×23.6	軸装	
小林 古径	羽衣	絹・彩色	1919年(大正8)頃	125.6×41.6	額装	高橋信雄氏寄贈
小林 古径	家根	紙・彩色	大正時代	35.3×48.4	軸装	宮崎俊英氏寄贈
【素描】						
小林 古径	ちゅうりっぷ	紙・鉛筆・色鉛筆	1947年(昭和22)頃	34.0×50.0	額装	
小林 古径	菖蒲	紙・淡彩	1951年(昭和26)	50.0×34.0	額装	
小林 古径	ぼら	紙・鉛筆・色鉛筆	1949年(昭和24)	49.8×36.7	額装	
小林 古径	茗荷	紙・鉛筆・色鉛筆	1949年(昭和24)	26.0×34.0	額装	
小林 古径	そら豆	紙・鉛筆・色鉛筆	1949年(昭和24)	26.0×34.0	額装	

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
講演会 濱谷浩 人と作品	3月22日（土） 午後2時～ 3時30分	57人	講師：多田亜生氏（元岩波書店編集者）、 齋藤尚明氏（陶芸作家） 濱谷浩の写真の魅力と、高田時代の人々との交流 について紹介した。
学芸員によるギャラリー トーク	①4月19日（土） ②5月11日（日） 午後2時～	① 9人 ② 24人	濱谷浩の人となりや展示作品について、担当学芸 員が解説を行った。
国際博物館の日を記念した 無料入館日	5月18日（日）	831人	国際博物館の日を記念して、施設の無料開放を行っ た。 （国際博物館の日 2025年テーマ：急激に変化する コミュニティにおける博物館の未来）
中・高校生のための写真 ワークショップ	5月17日（土） 午前10時～ 午後4時30分	5人	講師：福山楡青氏（写真家） 撮影した写真でドキュメンタリー作品を作り、館 内に展示した。
高校生無料ウィーク！	5月18日（日）～ 6月1日（日）	34人	写真ワークショップに参加した高校生の写真展示に合 わせ、上越市の高校生と上越市在住の18歳以下の方 を無料とした。

(4) 来館者からの声（アンケートより）

- ・ 濱谷浩の生涯や考え方、作風など心に残った。自分にできることをやりぬく力、伝えたいという思いなどに感銘を受けた。
- ・ 濱谷さんが上越や雪国から影響を受けて、どのような思いで撮影したか興味があった。地元の良さにも気づけてとても嬉しかった。
- ・ 地域に根ざした、土においのする写真の数々に感動した。
- ・ 上越ゆかりの写真家がいることを知って感動した。高校生の写真展示も良かった。



講演会「濱谷浩 人と作品」



作品鑑賞会



中高生写真ワークショップ

「生誕110年 濱谷浩展 人間と風土をみつめて」展示風景



(1) 企画展の概要

展覧会名：これってこわい？

会期：令和7年7月5日（土）～9月21日（日）70日間
開催内容：美術館に展示してある作品には、一見しただけではわからないが実はこわい場面や不思議なものが描かれていることがある。所蔵品の中から、ある種の怖さや気味悪さを感じる美術作品を紹介した。

主な展示作品：橋本龍美《草ん中》、柴田長俊《墮ちる》、倉石隆《地平》、福岡奉彦《黙過》、岩野勇三《Lament》（すべて小林古径記念美術館蔵）

担当学芸員：上村聡子・伊藤舞実



(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	3,659 人	794 人	4,453 人
幼・小・中・高	311 人	492 人	803 人
計	3,970 人	1,286 人	5,256 人

・有料入館率：75.5% 来館者満足度：97.3%

〈展示作品リスト〉

※所蔵者の記載のないものはすべて小林古径記念美術館蔵

作家名	作品名	材質・技法	制作年 (和暦)	寸法(cm)	形状	所蔵者等
■第1章：異界へようこそ						
橋本 龍美	草ん中	紙・彩色	1986 (昭和61)	80.0×116.8	額装	橋本誠治氏寄贈
富岡 惣一郎	木	カンヴァス・油彩	1971頃 (昭和46)	72.7×60.6	額装	
鳥越 憂	屋根	カンヴァス・油彩	1965 (昭和40)	79.0×98.3	額装	作家寄贈
斎藤 真一	青い昇天 『津軽じょんから瞽女日記』	カンヴァス・油彩	1976 (昭和51)	39.7×30.7	額装	池田敏章氏寄贈
峯田 敏郎	雲のある街	ブロンズ・金彩	1994 (平成6)	16.0×51.0×56.0	立体	作家寄贈
柴田 長俊	風の柩	カンヴァス・彩色	1984 (昭和59)	115.5×115.5	額装	作家寄贈
長森 聡	霧と仮面のある静物	カンヴァス・油彩	1991 (平成3)	87.8×144	額装	矢野良子氏・荻原徹氏寄贈
柴田 長俊	墮ちる	紙・彩色	1979 (昭和54)	160.5×111.2	額装	高橋信雄氏寄贈
渡邊 利雄	波	アルミ	1996 (平成8)	62.0×50.0×77.0	立体	公益財団法人 知足美術館寄贈
倉石 隆	地平	カンヴァス・油彩	1980 (昭和55)	193.9×130.3	額装	倉石翠氏寄贈
柴田 長俊	八月の月	紙・彩色	1991 (平成3)	163×131.5	額装	

倉石 隆	月の光	カンヴァス・油彩	1950 (昭和25)	115×90	額装	倉石翠氏寄贈
斎藤 真一	軽気球	カンヴァス・油彩	1962 (昭和37)	52.0×44.5	額装	池田敏章氏寄贈
斎藤 俊雄	台所	カンヴァス・油彩	1920 (大正9)	89.0×63.0	額装	
■第2章：「こわい」の正体						
うつくしいけどこわい						
斎藤 真一	海辺の氏神様「お春替女物語り」	板・油彩	1976 (昭和51)	23.0×32.1	額装	池田敏章氏寄贈
倉石 隆	奇術師	カンヴァス・油彩	1981 (昭和56)	98.2×78.2	額装	倉石ユキ子氏寄贈
堀 泰明	青衣 Blue Robe	紙・彩色		116.0×79.0	額装	Jマテホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
奥村 土牛	牡丹	絹・彩色		44.1×56.0	軸装	田中産業株式会社
エミール・ガレ	とんぼと水草文花瓶	ガラス		口径13.2 底径13.2 径21.0 高さ47.5	立体	有澤忠一氏寄贈
エミール・ガレ	海草文花瓶	ガラス		口径11.5 底径8.4 径20.0 高さ28.0	立体	有澤忠一氏寄贈
エミール・ガレ	蓮文花瓶	ガラス		口径8.7 底径7.6 径14.5 高さ23.0	立体	有澤忠一氏寄贈
エミール・ガレ	湖水風景文花瓶	ガラス		口径7.7 底径10.2 径20.2 高さ26.2	立体	有澤忠一氏寄贈
川合 清	壁	紙・彩色	1983 (昭和58)	72.5×52.5	額装	川合喜美子氏寄贈
斎藤 真一	じょんから 『津軽じょんから替女日記』 私家愛蔵版	紙・銅版画	1975 (昭和50)	27.0×19.8	書籍	池田敏章氏寄贈
なんだかぞわぞわ						
北大路 魯山人	日月椀	漆器		口径11.7 底径4.7 高さ9.2(蓋込み)	立体	Jマテホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
濱谷 浩	San Francisco ; Residential District 『AMERICAN AMERICA』	紙・ゼラチンシルバープリント	1967 (昭和42)	20.0×30.0	額装	
濱谷 浩	Seattle『AMERICAN AMERICA』	紙・ゼラチンシルバープリント	1967 (昭和42)	30.0×20.0	額装	
富岡 惣一郎	雪国	カンヴァス・油彩	1972 (昭和47)	91.0×72.7	額装	富岡岸枝氏寄贈
内田 邦夫	海鼠釉花瓶	陶器		口径8.0 底径11.3 径24.0 高さ17.0	立体	加藤良作氏寄贈
宮崎 喜三	韻	紙・ペン・水彩	1979 (昭和54)	50.0×47.5	額装	宮崎恭透氏寄贈
わからなくてこわい						
小林 古径	異本病草子 第四図 男踊ルヲ見テ女跳ゲル図(模写)	紙・墨		30.0×45.0	額装	
小林 古径	異本病草子 第六図 女ノ腹部腫レテ水ノ出テキル図(模写)	紙・墨		30.0×45.0	額装	
小林 古径	異本病草子 第十九図 上体オアキヲ表シテ寝タル図(模写)	紙・墨		30.0×45.0	額装	
小林 古径	異本病草子 第二十三図 女肩ニ(以下解説不可)(模写)	紙・墨		30.0×45.0	額装	
内田 邦夫	傘立	陶器		口径17.5 底径27.0 高さ70.8	立体	作家寄贈
山田 春美	うわさ	紙・エッチング		44.5×48.7	額装	山田ひろ子氏寄贈
飯田 春行	地霊(鳥)	カンヴァス・油彩		91.0×116.3	額装	飯田正行氏

自然の脅威						
濱谷 浩	集中豪雨禍の救援活動をする 陸上自衛隊員『昭和男性諸君』	紙・モノクロ印刷	1966 (昭和41)	29.5×19.5	額装	作家寄贈
濱谷 浩	危ない雪道『雪国(越後)』	紙・ゼラチンシルバープリント	1945 (昭和20)	30.0×20.0	額装	
村山 陽	名立・荒海・二月	紙・パステル	2001 (平成13)	36.2×53.5	額装	齋藤弘氏寄贈
福岡 奉彦	黙過	カンヴァス・油彩	2016 (平成28)	194.0×259.0	額装	作家寄贈
人間がこわい						
戸田 秀男	木下画伯夫妻の図	カンヴァス・油彩	1933 (昭和8)	221.5×179.5	額装	
矢野 利隆	人穴 ナニモナイウチガワ	カンヴァス・油彩	2021 (令和3)	96.0×129.4	額装	作家寄贈
岩野 勇三	Lament	ポリエステル	1971 (昭和46)	長さ227.0	立体	岩野亮介氏寄贈
水島 清	陸地進入図(素描)	紙・コンテ		24.0×29.0	額装	西條維久江氏寄贈
滝川 毘堂	都会の男	木彫・着色	1960 (昭和35)	高さ184.5×幅53.0	立体	

■ギャラリー：小林古径《清姫》

小林 古径	清姫「旅立」	原寸大複製画	1930 (昭和5)	48.9×130.7	額装	
小林 古径	清姫「寝所」	原寸大複製画	1930 (昭和5)	48.9×83.7	額装	
小林 古径	清姫「熊野」	原寸大複製画	1930 (昭和5)	48.9×107.4	額装	
小林 古径	清姫「清姫」	原寸大複製画	1930 (昭和5)	48.9×104.9	額装	
小林 古径	清姫「川岸」	原寸大複製画	1930 (昭和5)	48.9×160.4	額装	
小林 古径	清姫「日高川」	原寸大複製画	1930 (昭和5)	48.9×130.4	額装	
小林 古径	清姫「鐘巻」	原寸大複製画	1930 (昭和5)	48.9×142.5	額装	
小林 古径	清姫「入相桜」	原寸大複製画	1930 (昭和5)	48.9×112.6	額装	
エミール・ガレ	ユーカリ文花瓶	ガラス		口径5.0 底径13.8 径8.5 高さ35.0	立体	有澤忠一氏寄贈
エミール・ガレ	けまん草文花瓶	ガラス		口径5.3 底径6.5 径11.0 高さ20.0	立体	有澤忠一氏寄贈
エミール・ガレ	オリーブ文花瓶	ガラス		口径5.7 底径6.0 径8.8 高さ21.0	立体	有澤忠一氏寄贈

■二ノ丸ホール：特集展示 目が離せない！倉石隆の銅版画

倉石 隆	ドストエフスキー 「カラマゾフの兄弟」による	紙・銅版画	1970 (昭和45)	10.7×9.9	額装	
倉石 隆	ドストエフスキー 「カラマゾフの兄弟」による	紙・銅版画	1970 (昭和45)	17.0×11.6	額装	
倉石 隆	ドストエフスキー 「カラマゾフの兄弟」による	紙・銅版画	1970 (昭和45)	25.0×14.8	額装	
倉石 隆	超現実主義的エチュード	紙・銅版画	1983 (昭和58)	5.3×10.8	額装	
倉石 隆	超現実主義的エチュード	紙・銅版画	1983 (昭和58)	5.3×10.8	額装	

倉石 隆	超現実主義的エチュード	紙・銅版画	1983 (昭和58)	5.3×10.8	額装
倉石 隆	超現実主義的エチュード	紙・銅版画	1983 (昭和58)	6.0×12.0	額装
倉石 隆	横向きの男	紙・銅版画	1983 (昭和58)	18.7×15.7	額装
倉石 隆	女	紙・銅版画	1983 (昭和58)	6.3×9.2	額装
倉石 隆	ハイビスカス	紙・銅版画	1983 (昭和58)	11.6×7.2	額装
倉石 隆	男	紙・銅版画	1983 (昭和58)	14.8×10.3	額装

■エントランス

斎藤 真一	ピエロ／さすらいの自画像	紙・版画	1980 (昭和55)	45.5×31.0	額装	池田敏章氏寄贈
岡本 鏡二	ゆうすけ	石膏・着色		高さ46.0	立体	

作家名	作品名	材質・技法	制作年 (和暦)	寸法(cm)	形状	所蔵者等
-----	-----	-------	-------------	--------	----	------

■古径記念室「夏から秋へ」

小林 古径	八仙花	絹・彩色	1928年 (昭和3)	128.4×41.4	軸装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径	蜀黍	絹・彩色	大正時代	132.6×41.4	軸装	竹田義寛氏寄贈
小林 古径	桔梗	紙・彩色	1949年 (昭和24)頃	46.0×35.0	軸装	
小林 古径	里寸	絹・彩色	1936年 (昭和11)頃	121.2×36.0	軸装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径	すすき	絹・彩色	大正時代	141.0×50.3	軸装	高橋信雄氏寄贈
小林 古径	桔梗(扇面)	紙・彩色	昭和前期	15.8×38.0	軸装	宮崎俊英氏寄贈
小林 古径	紅蜀葵(習作)	金地・彩色	1936年 (昭和11)頃	148.0×61.0	額装	鈴木誠次氏寄贈
小林 古径	すすき(扇面)	金地・彩色	大正時代	18.9×56.7	額装	山岸協子氏寄贈
小林 古径	蓼(習作)	紙・彩色	1945年 (昭和20)代	73.4×46.5	軸装	Jマテ・ホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
小林 古径	郁子	紙・彩色	1942年 (昭和17)	46.3×60.0	額装	田中産業株式会社寄贈
小林 古径	きゅうり	紙・鉛筆・淡彩		34.0×52.0	額装	
小林 古径	蟬	紙・鉛筆		21.0×27.0	額装	
小林 古径	桃	紙・淡彩		33.5×63.0	額装	
小林 古径	柘榴・柿ほか	紙・鉛筆・色鉛筆	1949年 (昭和24)	36.7×49.8	額装	

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
美術館ファミリー・デー	7月19日（土）	159人	上越市内の18歳以下の方および一緒に入館する家族2名までの入館料を無料とした。 子ども向け作品鑑賞会「こわいのひみつをさがせ！」を午前と午後の2回行った。
モダンテクニックでふしぎな絵を描こう	8月2日（土） ① 10時～12時 ② 14時～16時	① 16人 ② 11人	マーブリング・吹き流しの技法を使ってきれいな模様の紙を作り、その紙を使って万華鏡を作った。
ミュージアム★ナイトツアー	8月23日（土） ① 19時～19時45分 小学生と保護者 ② 19時15分～20時 中学生以上	① 20人 ② 18人	懐中電灯を手に、暗闇の展示室や小林古径邸・庭園を、ミッションをこなしながらめぐるツアーを開催した。
白鳥さんの怪談寄席	9月6日（土） 19時～20時	一 般 76人 小学生 10人	上越市出身の落語家・三遊亭白鳥さんに、さまざまな怖い話を披露していただいた。

(4) 来館者からの声（アンケートより）

- ・美しさの中の“こわさ”をあらためて実感した。
- ・展示の子ども向けのコメントがわかりやすく、自分では気付かない視点で見ることができ、興味が深まった。
- ・ワークシートがあってよかった。幅広い年齢層が楽しめそうだった。
- ・一番こわかったもののナンバーワン総選挙を見て、こわいと思うものは人それぞれということがよくわかった。いい企画だった。



ファミリー・デー作品鑑賞会



モダンテクニックでふしぎな絵を描こう



白鳥さんの怪談寄席

「これってこわい？」展示風景



(1) 企画展の概要

展覧会名：梶田半古から古径・土牛へ

会期：令和7年10月4日（土）～12月14日（日）62日間
開催内容：日本画家・梶田半古は、的確な写実に基づき西洋画の影響を受けながら気品漂う作品を描いた。半古が開いた画塾には小林古径や前田青邨、奥村土牛などが名を連ね、後の近代日本画壇を代表格となる画家たちを輩出した。当館コレクションを中核として、半古から古径、土牛へとつながる系譜をたどった。

主な展示作品：梶田半古《騎龍観音》《婦子遊戯図 屏風》《源氏五十四帖 絵葉書》、小林古径《少女》《羅浮仙》《「梶田半古読売新聞挿絵」模写》、奥村土牛《鷹》《牡丹》《ぶどう（扇面）》（すべて小林古径記念美術館蔵）

その他：展覧会図録「梶田半古から古径・土牛へ」A5判、64頁、カラー、1,000部、（頒布価格1,000円）を作成した。

担当学芸員：笹川修一・伊藤舞実



(2) 入館者の状況

区分	有料	無料	合計
一般	1,420 人	497 人	1,917 人
幼・小・中・高	36 人	219 人	255 人
計	1,456 人	716 人	2,172 人

・有料入館率：67.0% 来館者満足度：98.8%

〈展示作品リスト〉

※所蔵者の記載のないものはすべて小林古径記念美術館蔵

作家名	作品名	材質・技法	制作年	寸法(cm)	員数	所蔵者	備考
■第1章：梶田半古の作品							
梶田 半古	騎龍観音	絹・彩色	明治26年	136.5×79.5	1幅		
梶田 半古	敦盛	絹・彩色	明治28年	36.2×59.0	1幅		
梶田 半古	花鳥図	絹・墨画・淡彩	明治30年代	108.7×41.0	1幅		
梶田 半古	鉄拐仙人・蝦蟇仙人	絹・彩色	明治時代末頃	各112.5×41.0	2幅		
梶田 半古	清少納言	絹・彩色	明治末～大正初期	125.0×50.0	1幅		
梶田 半古	観自在	紙・墨画	明治末～大正初期	172.5×93.0	1幅		
梶田 半古	比礼布留山	絹・彩色	明治時代末頃	113.4×34.8	1幅		
梶田 半古	おくに歌舞伎	絹・彩色	明治時代末頃	120.4×50.4	1幅		
梶田 半古	おくに歌舞伎(下図)	紙・墨画	明治時代末頃	86.4×51.7	1幅		
梶田 半古	婦子遊戯図	絹・彩色	明治時代末頃	各113.5×41.0	2曲 1隻		
梶田 半古	ひな	絹・彩色		36.5×39.5	1面		
梶田 半古	菊慈童	絹・彩色	明治時代末頃	116.4×41.2	1幅		
梶田 半古	勿来之関	絹・彩色	明治末～大正初期	119.2×41.5	1幅		
梶田 半古	采菊図	絹・彩色	明治30年代	107.8×27.2	1幅		
梶田 半古	和気清麻呂	絹・彩色	明治末～大正初期	127.4×48.6	1幅		
梶田 半古	官女と猫	絹・彩色	明治末～大正初期	108.6×40.9	1幅		
梶田 半古	六歌仙	絹・彩色	明治41年	120.4×52.1	1幅		
梶田 半古	蹴鞠	絹・彩色	明治末～大正初期	114.0×40.8	1幅		
梶田 半古	静御前	絹・彩色	明治末～大正初期	110.0×42.0	1幅		
梶田 半古	寿老蓬萊山図	絹・彩色	明治40年代	106.5×36.0	3幅対		

梶田 半古	寒山拾得	絹・彩色	明治40年代	113.4×40.7	1幅	
梶田 半古	観音大士図	絹・彩色	明治42年	124.0×50.7	1幅	
梶田 半古	源氏五十四帖 絵葉書	紙・多色刷	明治38年	各14.0×9.0	54枚	金尾文淵堂発行
梶田 半古	しだり柳	紙・印刷	明治27年	23.4×16.2	1冊	
梶田 半古	『画事入門』	紙・印刷	明治41年	22.5×15.5	1冊	
梶田 半古	梶田半古使用の印章				10類	
梶田 半古	画帖	紙・彩色		12.0×18.0	1冊	
菊池 容斎	前賢故實	紙・印刷	明治時代	25.8×18.2	20冊	

■第2章：半古から学ぶ―古径の半古作品模写

小林 古径	梶田半古作品模写	紙・墨画	明治35年頃	26.5×37.5	1面	庚子元旦半古試写 (明治33年)
小林 古径	梶田半古 『流行』18号表紙絵模写	紙・墨画淡彩	明治35年頃	26.5×37.5	1面	明治34年5月発行
小林 古径	梶田半古 『流行』24号・25号口絵模写	紙・墨画	明治35年頃	26.5×37.5	1面	明治34年 11月発行・12月発行
小林 古径	梶田半古 『紺暖簾』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	26.5×18.5	1面	明治34年6月18日掲載
小林 古径	梶田半古 『紺暖簾』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	37.5×26.5	1面	明治34年7月29日掲載
小林 古径	梶田半古 『紺暖簾』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	18.5×26.5	1面	明治34年9月6日掲載
小林 古径	梶田半古 『紺暖簾』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	26.5×18.5	1面	明治34年9月7日掲載
小林 古径	梶田半古 『紺暖簾』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	26.5×18.5	1面	明治34年9月8日掲載
小林 古径	梶田半古 『蕙蘭』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	18.5×26.5	1面	明治34年10月9日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	18.5×26.5	1面	明治34年5月10日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	18.5×26.5	1面	明治34年9月20日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治35年頃	26.5×18.5	1面	明治35年3月31日掲載
小林 古径	梶田半古 『少女界』挿絵模写	紙・墨画	明治時代末頃	24.3×32.7	1面	明治35年4月11日発行
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写 「青あらし」	紙・墨画	明治時代末頃	26.5×18.5	1面	明治36年6月7日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治時代末頃	26.5×18.5	1面	明治36年8月3日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治時代末頃	26.5×18.5	1面	明治37年6月19日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治時代末頃	26.5×18.5	1面	明治37年8月28日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治時代末頃	26.5×37.5	1面	明治37年9月4日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治時代末頃	26.5×37.5	1面	明治38年4月8日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治時代末頃	18.2×12.7	1面	明治38年8月20日掲載
小林 古径	梶田半古 『讀賣新聞』挿絵模写	紙・墨画	明治時代末頃	26.5×37.5	1面	明治39年9月30日掲載
関連資料	梶田半古先生之碑 (小林古径揮毫)		大正6年		1基	小林古径記念美術館庭園内

■第3章：半古から古径・土牛へ

小林 古径	松島	絹・彩色	大正5年頃	131.0×50.5	1幅	個人蔵
小林 古径	羅浮仙	絹・彩色	大正6年	各115.2×24.0	3幅対	画博堂 新作三幅対作品展
小林 古径	雛	紙・彩色	昭和初期	115.7×37.8	1幅	
小林 古径	鶴	絹・彩色	昭和2年頃	142.0×51.4	1幅	田中産業株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
小林 古径	筍	絹・彩色	昭和3年頃	47.0×55.3	1面	個人蔵
小林 古径	犬	絹・彩色	昭和5年頃	148.7×49.7	1幅	個人蔵
小林 古径	寿老	紙・墨画・淡彩	昭和17年	42.6×59.6	1幅	
小林 古径	尾長鳥	紙・彩色	昭和21年頃	46.8×66.0	1幅	
小林 古径	牡丹(絶筆)	紙・彩色		54.6×72.5	1面	

奥村 土牛	牡丹	絹・彩色		44.1×56.0	1幅	田中産業株式会社 (小林古径記念美術館寄託)	
奥村 土牛	ぶどう(扇面)	絹・彩色		46.0×56.5	1幅	個人蔵	
奥村 土牛	鷹	絹・彩色	昭和18年	84.6×116.4	1幅	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)	再興第30回 日本美術院展出品
奥村 土牛	鶴	絹・彩色		129.8×41.5	1幅	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)	
奥村 土牛	朝顔	絹・彩色		27.2×24.3	1枚	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)	
奥村 土牛	柘榴『小天地帖』より	絹・彩色		35.0×41.5	1帖	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)	
古径・土牛 ほか	梶田半古塾生寄せ描き	紙・墨画・淡彩	明治時代末頃	35.5×6.0	1面		
関連資料	小林古径塔(奥村土牛揮毫)		昭和55年		1基		小林古径記念美術館庭園内

■古径記念室：明治時代の画業

小林 古径	少女	絹・彩色	明治31年頃	67.8×54.8	1幅		
小林 古径	少女	絹・彩色	明治40年頃	37.6×28.2	1幅	個人蔵	
小林 古径	少女	絹・彩色	明治40年	29.3×23.0	1幅		
小林 古径	重盛	絹・彩色	明治44年頃	124.5×41.0	1幅		
小林 古径	秋草(扇面)	絹・彩色	明治末～大正初	17.0×40.6	1幅		
小林 古径	ヒオウギ(写生)	紙・鉛筆・墨画・淡彩	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年8月6日写生
小林 古径	ヘチマのつる(写生)	紙・鉛筆・墨画	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年8月28日写生
小林 古径	キボウシ(写生)	紙・鉛筆・墨画・淡彩	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年8月8日写生
小林 古径	サルスベリ(写生)	紙・鉛筆・墨画・淡彩	明治34年	各13.0×19.0	1面		
小林 古径	秋海棠(写生)	紙・鉛筆・墨画・淡彩	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年8月8日写生
小林 古径	ツクサ・サルスベリ(写生)	紙・鉛筆・墨画	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年 8月13日・8月26日写生
小林 古径	ムクゲ(写生)	紙・鉛筆・墨画・淡彩	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年8月16日写生
小林 古径	ヘチマ(写生)	紙・鉛筆・墨画	明治34年	34.5×13.0	1面		明治34年8月19日写生
小林 古径	ヘチマの花(写生)	紙・鉛筆・墨画・淡彩	明治34年	13.0×34.5	1面		明治34年8月16日写生
小林 古径	ヒオウギ(写生)	紙・鉛筆・墨画	明治34年	34.5×13.0	1面		
小林 古径	ホオズキ(写生)	紙・鉛筆・墨画	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年8月28日写生
小林 古径	タマスダレ(写生)	紙・鉛筆・墨画・淡彩	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年8月31日写生
小林 古径	モミジ(写生)	紙・鉛筆・墨画	明治34年	各13.0×19.0	1面		明治34年8月24日写生
小林 古径	ギボウシ(写生)	紙・鉛筆・墨画	明治34年	19.0×13.0	1面		
小林 古径	人物	紙・墨画	明治35年	26.5×37.5	1面		
小林 古径	人物	紙・墨画	明治35年	26.5×37.5	1面		
小林 古径	猫と小鳥	紙・墨画	明治35年	37.5×26.5	1面		
小林 古径	キツツキ	紙・墨画	明治35年	26.5×37.5	1面		
小林 古径	鷹	紙・墨画	明治35年	18.5×26.5	1面		
小林 古径	小手	紙・墨画・淡彩	明治36年	26.5×37.5	1面		
小林 古径	三味線を弾く女性	紙・墨画	明治36年	18.5×26.5	1面		
小林 古径	猫と遊ぶ子ども	紙・墨画	明治時代	26.5×18.5	1面		
小林 古径	子ども	紙・墨画・淡彩	明治時代	26.5×37.5	1面		
小林 古径	馬形埴輪	紙・墨画	明治45年	28.0×40.0	1面		明治45年6月7日写生
小林 古径	二十四孝すごろく (幼年の友附録)	紙・印刷	大正4年	39.0×55.0	1面		
小林 古径	古径手製紙文庫	紙・竹籠・彩色		38.0×26.0	1合		
関係資料	古径愛用品 (筆、絵皿ほか)				1式		
関係資料	端溪硯 (岡倉天心からの結婚祝い)			15.2×10.2× 2.0	1面		
小林 古径	写生帖	紙・墨画・淡彩	明治44年頃	13.8×18.3	1冊		

■ギャラリー：半古の口絵と関連資料

梶田 半古	王夫人 （『文藝倶楽部』口絵）	紙・印刷	明治37年	24.2×17.5	1面
梶田 半古	紅蓮白蓮 （『文藝倶楽部』口絵）	紙・印刷	明治34年	21.0×29.0	1面
梶田 半古	美人詠歌 （『文藝倶楽部』口絵）	紙・印刷	明治36年	20.5×28.2	1面
梶田 半古	ゆあみ （『文藝倶楽部』口絵）	紙・印刷	明治41年	21.0×29.0	1面
小林 古径	《清少納言》箱書	桐箱・墨書			1個
奥村 土牛	《鉄拐仙人・蝦蟇仙人》箱書	桐箱・墨書			1個
前田 青邨	《菊慈童》箱書	桐箱・墨書			1個
小林 古径	『半古と楓湖』 （題字：小林古径）	紙・印刷	昭和30年	21.4×15.3	1冊
参考資料	日本画制作工程見本	紙・彩色	平成24年	各31.3×40.7	8面
参考資料	油彩画制作工程見本	カンヴァス・油彩	平成27年	各24.2×33.3	8面

■エントランス

梶田 半古	『源氏物語』帯木	紙・印刷		18.0×12.5	1面
-------	----------	------	--	-----------	----

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
学芸員による ギャラリートーク	① 10 月 11 日（土） ② 11 月 15 日（土） 午後 2 時～	① 25 人 ② 20 人	梶田半古と小林古径と奥村土牛の作品やその系譜について、担当学芸員が解説を行った。
講演会 梶田半古の芸術 画家として、師として	10 月 25 日（土） 午後 2 時～ 3 時 30 分	43 人	講師：富田章氏 （東京ステーションギャラリー館長） 梶田半古の作品から読み取れる文学性やその魅力、古径・土牛など半古塾で学んだ画家たちを紹介した。
ワークショップ 日本画に挑戦 絹に描こう！	11 月 1 日（土） 午前 9 時 30 分～ 午後 4 時 30 分	13 人	講師：洞谷亜里佐氏（日本画家） 展示作品にちなみ、小サイズの絹絵を描く体験を行った。

(4) 来館者からの声（アンケートより）

- ・ 梶田半古の作品を拝見する機会がほとんどなかったので本展にはたいへん満足しています。また半古から古径、古径から土牛への流れもよくわかり、この点でも満足しています。
- ・ 梶田半古の日本画は初めて見ました。日本画の繊細さと美しい線表現と内面（表現の）力強さを感じました。
- ・ とても見ごたえのある展示でした。作品数、作者についても一カ所で見られる内容ではなく満足しました。
- ・ 講演はとてもすばらしく時間を忘れる程でした。梶田半古のすばらしさをあらためて感じました。デザイナーとしての感覚の良さも感じられた。今回の企画展、とても良かったです。



作品鑑賞会



記念講演会



日本画講座・絹に描く

「梶田半古から古径・土牛へ」展示風景



(1) 企画展の概要

展覧会名：どうぶつえんへいこう！

会期：令和8年1月4日（日）～3月8日（日）54日間
開催内容：当館コレクションを活用して多くの芸術家たちが独自の観察眼を持って表した動物たちの作品を展示した。絵画だけでなく彫刻や工芸など、素材や技法、表現したい姿によって多彩な表情をみせる動物たちを紹介した。
主な展示作品：小林古径《小犬》、菱田春草《鷹》、洞谷重里佐《仲間たち》、北大路魯山人《赤絵蝦絵向付》、渡邊利煊《毛繕いする猫》ほか
その他：2月11日（水・祝）は小林古径生誕日につき終日入館無料とし、午後7時まで延長開館を実施、436人が入館した。
担当学芸員：上村聡子・伊藤舞実



(2) 入館者の状況

区分	有料	無料	合計
一般	642人	738人	1,380人
幼・小・中・高	12人	555人	567人
計	654人	1,293人	1,947人

・有料入館率：34% 来館者満足度：99.5%

〈展示作品リスト〉

※所蔵者の記載のないものはすべて小林古径記念美術館蔵

作家名	作品名	材質・技法	制作年(西暦)	寸法(cm)	形状	所蔵者等
■【エリア1】ようこそ！鳥の楽園へ						
金鳥 桂華	若松双鶴図	絹・彩色		57.2×62.7	額装	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)
加倉井 和夫	好日	紙・彩色		32.5×52.5	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
堅山 南風	石楠花に尾長	絹・彩色	昭和前期	48.5×56.3	額装	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)
児玉 希望	月光雁彩	絹・彩色		143.5×42.2	軸装	高橋信雄氏寄贈
土田 麦僊	松に雉子	絹・彩色	大正10年(1921)	158.0×51.1	軸装	高橋信雄氏寄贈
菱田 春草	芦に白鷺	紙・彩色	明治24年(1891)	53.4×38.9	軸装	高橋信雄氏 (小林古径記念美術館寄託)
横尾 深林人	鳥	紙・彩色		43.5×52.5	額装	
斎藤 俊雄	七面鳥	カンヴァス・油彩		71.7×115.0	額装	
北大路 魯山人	乾山風雪笹絵角平鉢	陶器		径30.0×30.0 高さ7.8	立体	Jマテ・ホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
■【エリア2】ピチピチ！水辺のいきもの						
北大路 魯山人	色絵双魚文皿	磁器		径20.7 底径12.0 高さ2.5	立体	Jマテ・ホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
北大路 魯山人	赤絵蝦絵向付	磁器		口径8.2 底径3.5 高さ7.0	立体	Jマテ・ホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
北大路 魯山人	九谷魚文色絵鉢	陶器		口径22.0 底径6.5 高さ8.6	立体	Jマテ・ホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)

洞谷 亜里佐	仲間たち (糸魚川・筒石港)	紙・彩色	平成14年(2002)	91.0 × 72.5	額装	作家蔵
和田 英作	かに	カンヴァス・油彩		30.5 × 39.5	額装	甲斐國子氏寄贈
大山 忠作	彩鱗	紙・彩色		73.4 × 46.5	額装	田中産業株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
加山 又造	魚	紙・彩色		直径21.5	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
小林 古径	金魚	紙・墨・淡彩		22.0×29.0	額装	
小林 古径	鮎	紙・鉛筆・淡彩		28.0×38.0	額装	
■【エリア3】人間のパートナー！はたらく動物						
楊洲 周延	徳川時代行軍図	紙・彩色	明治36年(1903)	105.0 × 41.0	軸装	上越市立歴史博物館
長森 聰	Cirque Gruss (シルクグリュス)	カンヴァス・油彩		70.5 × 89.0	額装	矢野良子氏・荻原徹氏寄贈
高井 進	黄磁長頸壺	磁器		口径 2 2.8 底径10.0 高さ12.0	立体	長瀬幸夫氏寄贈
濱谷 浩	山の暮らし(「裏日本」)	紙・ゼラチンシルバープリント	昭和30年(1955)	20.0 × 30.0	額装	
濱谷 浩	津軽の男(「裏日本」)	紙・ゼラチンシルバープリント	昭和30年(1955)	20.0 × 30.0	額装	
ジュール・デュブレ	川辺の牛の群れ	カンヴァス・油彩		25.1×48.2	額装	田中産業株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
洞谷 亜里佐	悠久の地アユタヤ	紙・彩色	平成24年(2012)	72.5×60.5	額装	作家蔵
斎藤 俊雄	老人と駱駝	絹・油彩	大正12年(1923)	166.8×166.9	屏風	下鳥正三氏寄贈
斎藤 真一	鶏小屋	カンヴァス・油彩	昭和23年(1948)	63.8×51.7	額装	池田敏章氏寄贈
小林 古径	桃太郎	紙・墨・淡彩		99.5×57.0	額装	
今村 紫紅	初夏	絹・彩色	大正期	112.7×42.0	軸装	高橋信雄氏寄贈
■【エリア4】大迫力！猛獣たち						
菱田 春草	鷹	紙・彩色	明治24年(1891)	54.3×39.2	軸装	高橋信雄氏 (小林古径記念美術館寄託)
小林 古径	獅子	紙・墨		18.5×26.5	額装	
小林 古径	わに	紙・墨		18.5×26.5	額装	
小林 古径	とら	紙・墨		45.0×61.0	額装	
森 蘭斎	龍虎之図屏風	紙・墨		155.0×334.0	屏風	妙高市
梶田 半古	猿	紙・墨		120.0×29.0	軸装	諸隈裕一氏寄贈
■【エリア5】ニコニコ！ふれあい広場						
小林 古径	りす	紙・鉛筆・淡彩		22.0×42.5	額装	
小林 古径	うさぎ	紙・墨	明治35年頃(c.1902)	18.5×26.5	額装	
小林 古径	ねずみ	紙・墨・鉛筆・淡彩		20.0×27.0	額装	
楊洲 周延	月に兎	紙・彩色	明治43年(1910)	87.0×41.0	軸装	上越市立歴史博物館
内田 邦夫	ホールインワン灰皿	陶器		口径15.4 高さ5.0	立体	作家寄贈
小林 古径	小犬	紙・彩色	昭和10年頃(c.1935)	77.2×47.0	額装	山岸邦夫氏遺贈
大塚 いちお	雷神	紙・ペン・アクリル	令和2年(2020)	81.5×52.5	額装	作家寄贈
大塚 いちお	真夏の太陽	紙・ペン・アクリル	令和2年(2020)	81.5×52.5	額装	作家寄贈
大塚 いちお	風神	紙・ペン・アクリル	令和2年(2020)	81.5×52.5	額装	作家寄贈
小林 古径	丘	紙・彩色	昭和26年(1951)	50.6×69.4	額装	
穴道 圭	路	紙・彩色		71.5×59.6	額装	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)
加山 又造	蝶(ベルシャ猫)	紙・彩色		52.3×72.2	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社 (小林古径記念美術館寄託)
洞谷 亜里佐	日溜まり	紙・彩色	平成17年(2005)	91.0×72.5	額装	作家蔵
渡邊 利尅	けんか	アルミ	昭和63年(1988)	茶：体長76.0× 幅35.0× 高さ34.0 紺：体長76.3× 幅34.0× 高さ35.0	立体	財団法人知足美術館寄贈
渡邊 利尅	影	真鍮・ガラス	昭和57年(1982)	左：体長120.0× 幅29.0× 高さ33.5 中：体長111.0× 幅16.5× 高さ33.0 右：体長113.5× 幅30.0× 高さ34.0	立体	財団法人知足美術館寄贈

■【エリア6】のぞいてみよう！虫の世界

栗原 幸彦	涼夏	紙・彩色	71.5×71.5	額装	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)
川合 清	壁	紙・彩色	72.5×52.5	額装	川合喜美子氏寄贈
小林 古径	蝶	紙・淡彩	23.0×26.0	額装	
小林 古径	蟬	紙・鉛筆	21.0×27.0	額装	
エミール・ガレ	とんぼと水草文花瓶	ガラス	口径13.2 底径13.2 径21.0 高さ47.5	立体	有澤忠一氏寄贈
小林 古径	蜻蛉	紙・鉛筆・淡彩	31.5×41.5	額装	

■エントランス

ツェンデ・モンゴル	草原暮色	紙・水彩	平成6年(1994)	29.2×51.5	額装	
渡邊 利雄	毛繕いする猫	アルミ	昭和60年(1985)	緑：体長66.0× 幅28.0× 高47.0 茶：体長70.0× 幅30.0× 高37.0	立体	財団法人知足美術館寄贈

■ギャラリー：古径動物園

小林 古径	木菟（みみずく）	原寸大複製画	69.6×106.7	額装	本画：1929年(昭和4) 大倉集古館蔵	
小林 古径	日長	原寸大複製画	56.6×83.2	額装	本画：1933年(昭和8) 個人蔵	
小林 古径	双鳩	原寸大複製画	65.5×101.2	額装	本画：1937年(昭和12) 東京国立近代美術館蔵	
小林 古径	橋	原寸大複製画	57.6×72.1	額装	本画：1942年(昭和17) 東京国立近代美術館蔵	
小林 古径	牛	原寸大複製画	30.0×42.0	額装	本画：1941年頃(昭和16) 個人蔵	
小林 古径	尾長鳥	原寸大複製画	57.6×72.2	額装	本画：1946年(昭和21) ウッドワン美術館蔵	
小林 古径	猫	原寸大複製画	81.8×50.7	額装	本画：1946年(昭和21) 山種美術館蔵	
小林 古径	鶴	原寸大複製画	61.5×84.0	額装	本画：1948年(昭和23) 山種美術館蔵	
小林 古径	子犬	原寸大複製画	54.0×63.0	額装	本画：1950年(昭和25) 個人蔵	
小林 古径	狗子	原寸大複製画	66.0×51.5	額装	本画：1950年(昭和25) 個人蔵	
エミール・ガレ	アジアントム文鶴首花瓶	ガラス	(1904～1914)	口径2.2 底径4.0 径8.0 高さ16.5	立体	有澤忠一氏寄贈
エミール・ガレ	アジアントム文一輪挿	ガラス	(1904～1914)	口径1.0 底径6.4 高さ21.8	立体	有澤忠一氏寄贈
エミール・ガレ	待宵草文小壺	ガラス	(1904～1914)	口径5.8 底径6.0 径8.0 高さ10.2	立体	有澤忠一氏寄贈

■二ノ丸ホール：よろしく！BONBONです

小林 古径	犬と柘榴	原寸大複製画	昭和9年(1934)	65.9×86.6	額装	本画：1934年(昭和9) 個人蔵
-------	------	--------	------------	-----------	----	----------------------

作家名	作品名	材質・技法	制作年(西暦)	寸法(cm)	形状	所蔵者等
■古径記念室：古径の描いた花と鳥						
小林 古径	鶺鴒	紙・彩色	昭和18年(c.1943)	27.6×23.6	軸装	
小林 古径	梅にうぐいす	紙・彩色	昭和22年(1947)	48.0×64.4	軸装	おひさま耳鼻咽喉科寄贈
小林 古径	鳩	絹・彩色	昭和2年(1927)	116.0×41.7	軸装	久保田洋子氏寄贈
小林 古径	翡翠	絹・彩色	昭和初期	40.7×50.4	軸装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径	翠色	紙・彩色	大正6年頃(c.1917)	148.4×48.1	軸装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径	菊	絹・彩色	大正期	47.3×53.8	額装	山岸邦夫氏遺贈
小林 古径	椿	絹・金地・彩色	昭和前期	27.2×24.1	額装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径	草花	紙・彩色	昭和22年(1947)	72.0×46.6	額装	山岸邦夫氏遺贈
小林 古径	芍薬	紙・淡彩		40.0×54.5	額装	個人蔵 (小林古径記念美術館寄託)
小林 古径	鳥三題	紙・墨・淡彩	明治後期	26.5×37.5	額装	
小林 古径	鳩	紙・墨	明治後期	26.5×37.5	額装	
小林 古径	おしどり	紙・墨・淡彩		26.5×37.5	額装	
小林 古径	鶴	紙・墨		26.7×38.5	額装	
小林 古径	牡丹	紙・鉛筆・淡彩		26.5×36.0	額装	
小林 古径	牡丹	紙・鉛筆・淡彩		26.5×36.0	額装	
小林 古径	カキツバタ	紙・鉛筆・淡彩・色鉛筆		26.5×36.0	額装	
小林 古径	花・鳥	紙・墨	明治後期	26.5×37.5	額装	

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
BONBON を作ろう！	1月10日（土） 午前10時～12時	7人	いろいろな素材を使って美術館キャラクターBONBONを作り、展示室で写真を撮った。
小林古径生誕記念日 キャンドルナイト 2026	2月11日（水・祝） 午前10時～午後7時	436人	庭園内に雪灯籠を作り、明かりを灯した。展示室と古径邸の解説ツアーを実施した。
観る・描く・楽しむ！ はじめての日本画体験	2月21日（土） 午後2時～4時	12人	日本画について説明した後、作品を鑑賞。日本画の画材を使って彩色体験をした。

(4) 来館者からの声（アンケートより）

- ・「動物」というテーマがわかりやすく楽しく展示されていてよかった。壁の装飾が楽しい。
- ・本当に動物園にいるようでしたごく楽しめた。普段より古径さんの作品が多いのもよかった。
- ・年代や技法も様々な作品を一度にたくさん楽しむことができ、とても満足した。

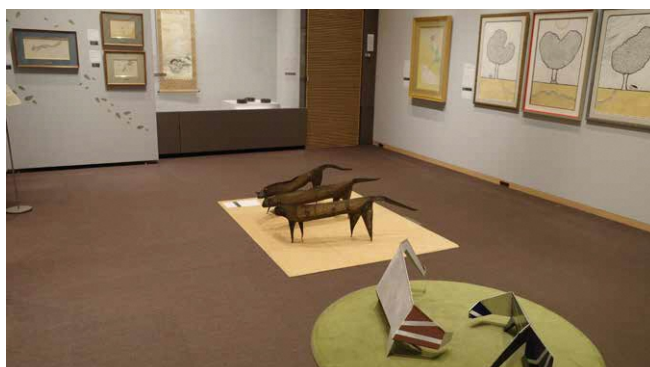


BONBON を作ろう！



キャンドルナイト

「どうぶつえんへいこう！」展示風景



(1) 美術館主催・共催イベント・サービス

イベント名	開催日	会 場	参加者数	内 容
よちよちタイム	開館中の火曜日 9:00～12:00 (12月～3月は 10:00～12:00) 全37回実施	二ノ丸 ホール	保護者：86人 乳幼児：116人 計：202人	未就学児の保護者が気兼ねなく美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者1名無料とした。ホール内に自由に遊ぶおもちゃや絵本を用意した。
こどものための美術館ガイド 「きっず★アートチャレンジ」	—	美術館内	Vol.1：147人 Vol.2：68人	小林古径や展示作品、日本画の絵具に関する問題を解き、子どもたちに美術館を気軽に親しんでもらう取り組みを行った。

(2) アート体験プログラム

◆日本画絵の具であそぼう

内容	団体名	実施期日	人数	備考
日本画体験	上越教育大学附属小学校3年生	6月19日	33人	出前講座、墨流し体験
	高田特別支援学校6年生	7月18日	7人	出前講座、作品鑑賞と実技
	新潟県若手教員研修会	7月27日	15人	出前講座、日本画体験
	大和小学校5年生	9月3日	52人	美術館内、作品鑑賞と実技
	東本町小学校4年生	11月27日	54人	美術館内、作品鑑賞と実技
	和田小学校特別支援級	2月6日	7人	美術館内、作品鑑賞と実技
	安塚小学校5・6年生	2月10日	14人	美術館内、作品鑑賞と実技
合計			182人	

教材まるごとお出かけプログラム（授業協力・教材貸出し）

◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。

キット種類	内 容
見本キット（木箱入り）	岩絵具の原石や岩絵具見本、和紙の原料や紙・絹見本、墨、金箔など
使用キット	岩絵具セット、水干絵具セット、胡粉、顔彩セット、筆や絵皿など
日本画制作過程見本	8工程からなる日本画の制作過程見本（F6サイズボード）
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一回につき約5点まで。

貸し出し状況：令和7年度実績なし

(3) 団体見学

団体・学校名	期 日	人数	備考
上越観光コンベンション協会ツアー	4月3日(木)	6人	うち引率3
クラブツーリズム 北国街道を歩く	4月12日(土)	20人	うち添乗員1
長岡造形大学	4月12日(土)	55人	うち引率5
カレル大学・上越教育大学	4月13日(日)	10人	
春日山ロータリークラブ	4月13日(日)	28人	
和同保育園年長児親子	5月9日(金)	31人	うち引率5
上越教育大学	5月11日(日)	9人	うち引率1
フカミ美術月釜茶会	5月25日(日)	60人	
新潟市歴史博物館みなとびあファンクラブ	6月1日(日)	26人	
上越教育大学附属小学校3年生	6月12日(木)	34人	うち引率1
旅行サロン百万石会	6月12日(木)	21人	うち添乗員1
フカミ美術月釜茶会	6月22日(日)	50人	
上越教育大学	7月8日(火)	8人	うち引率1
下黒川小学校5・6年生	7月11日(金)	24人	うち引率3
吉川高等特別支援学校	7月11日(金)	11人	うち引率5
教員女性管理職退職者の会	7月13日(日)	70人	
上越総合技術高等学校	7月15日(火)	50人	うち引率1
清里地区公民館	7月17日(木)	10人	うち引率1
上越教育大学附属小学校3年生	7月18日(金)	24人	うち引率2

上越総合技術高等学校	7月23日(水)	32人	うち引率1
岩内町交流事業「ジュニア上越の船」	7月26日(土)	16人	うち引率6
フカミ美術月鑑茶会	7月27日(日)	65人	
東京学芸大学附属高等学校	7月29日(火)	37人	うち引率3
東京学芸大学附属高等学校	8月1日(金)	57人	うち引率8
東京学芸大学附属高等学校	8月5日(火)	74人	うち引率6
東京学芸大学附属高等学校	8月8日(金)	85人	うち引率12
また明日なおえつ	8月27日(水)	8人	うち引率3
新潟・フランス協会バスツアー	8月30日(土)	21人	
フカミ美術月鑑茶会	8月31日(日)	53人	
大和小学校5年生	9月3日(水)	57人	うち引率5
高田北城高等学校	9月3日(水)	7人	うち引率1
明治小学校3・4年生	9月4日(木)	17人	うち引率2
高田北城高等学校	9月4日(木)	10人	うち引率1
高田北城高等学校	9月5日(金)	22人	うち引率1
信州新町美術館友の会	9月9日(火)	15人	
高田北城高等学校	9月18日(木)	10人	うち引率1
フカミ美術月鑑茶会	9月21日(日)	52人	
古代史紀行ツアー	10月7日(火)	11人	うち引率1
新発田古文書研修会	10月8日(水)	18人	
つくば開成学園高等学校	10月10日(金)	29人	うち引率4
群馬県立近代美術館友の会	10月11日(土)	39人	
城東中学校3年生	10月22日(水)	25人	うち引率1
フカミ美術月鑑茶会	10月26日(日)	21人	
学校教育研究部会図工・美術部	11月11日(火)	33人	
上越教育大学	11月14日(金)	7人	うち引率2
クラブツーリズム	11月18日(火)	27人	うち添乗員1
三郷小学校6年生	11月21日(金)	15人	うち引率1
クラブツーリズム	11月21日(金)	29人	うち添乗員1
東本町小学校4年生	11月27日(木)	57人	うち引率3人
北陸秘湯の会	12月5日(金)	14人	うち添乗員1
伝統文化親子茶会	12月6日(土)	23人	
上越教育大学	1月7日(水)	8人	
城東中学校1年生	1月9日(金)	61人	うち引率5
城東中学校1年生	1月14日(水)	58人	うち引率4
城東中学校1年生	1月16日(金)	34人	うち引率3
春日小学校3年生	1月21日(水)	120人	うち引率8
和田小学校特別支援級	2月6日(金)	10人	うち引率3
安塚小学校5・6年生	2月10日(火)	15人	うち引率1
上越総合技術高等学校1年生	2月10日(火)	23人	うち引率2
上雲寺小学校3年生	2月13日(金)	19人	うち引率2
また明日カレッジ	2月14日(土)	12人	うち引率2
また明日たかだジュニア	2月21日(土)	14人	うち引率4
また明日ひよこ	2月21日(土)	12人	うち引率4
上越総合技術高等学校	2月25日(水)	33人	うち引率1
かなやの里ワークス	2月26日(木)	10人	うち引率2
上越教育大学附属小学校3年生	2月26日(木)	32人	うち引率1
ハミングツアー	2月28日(土)	44人	うち引率1
三和地区公民館	3月7日(土)	11人	うち引率1

※合計68件、うち学校団体30件（小学校12件、中学校4件、高校14件）

(4) 博物館実習の受け入れ

実習日：令和7年7月30日（水）～8月3日（日）5日間

実習者：2人（富山大学芸術文化学部、東北芸術工科大学芸術学部）

期 日	主な内容
7月30日(水)	オリエンテーション、施設見学
7月31日(木)	講義、美術資料の取り扱い実習
8月1日(金)	講義、美術資料の台帳作成実習
8月2日(土)	教育普及活動の実践（これってこわい？展ワークショップ）
8月3日(日)	展覧会の企画案作成、発表

(5) 中学生職場体験の受け入れ

実習日：令和7年11月12日（水）～14日（金）3日間

実習者：3人（城東中学校）

(1) 作品収集

①購入作品：該当なし

②寄贈作品

(1) 日本画

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	小林 古径	勿来関	大正時代	絹・彩色	軸装
2	小杉 未醒（放菴）	げんかん 阮咸	1922(大正11)	絹・墨画淡彩	軸装

(2) 油彩画

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	飯田 春行	地霊（鳥）	1996(平成8)	カンヴァス・油彩	額装

(3) 彫刻

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	岩野 勇三	かくまき（エスキース）	1962(昭和37)	ブロンズ・鑄造	－
2	高野 弓山	翁立像	明治末期～大正期	陶像	－

(4) 写真

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	濱谷 浩	終戦の日の太陽	1945(昭和20)	紙・ゼラチンシルバープリント	捲り

以上 6 件

（内訳）日本画 2 件、油彩画 1 件、彫刻 2 件、写真 1 件

(2) 作品・資料の貸与

①上越市立歴史博物館

展覧会名：常設展第一期「斎藤真一が描いた瞽女」コーナー

会 期：3 月 29 日（土）～ 6 月 22 日（日）

貸与期間：3 月 25 日（火）～ 6 月 22 日（日）

貸与作品：

作家名	作品名	分 類	員 数
斎藤 真一	花野の道【越後瞽女日記】	油彩画	額装
斎藤 真一	瞽女の花見【越後瞽女日記】	木版画	額装
斎藤 真一	かとうの死【越後瞽女日記】	油彩画	額装

展覧会名：常設展第二期「斎藤真一が描いた瞽女」コーナー

会 期：6 月 26 日（木）～ 9 月 28 日（日）

貸与期間：6 月 19 日（木）～ 9 月 28 日（日）

貸与作品：

作家名	作品名	分 類	員 数
斎藤 真一	鶯口の雷【越後瞽女日記】	油彩画	額装
斎藤 真一	佐久の旦那【越後瞽女日記】	油彩画	額装
斎藤 真一	明星 二本木の雪【越後瞽女日記】	油彩画	額装

展覧会名：常設展第三期「斎藤真一が描いた瞽女」コーナー

会 期：9 月 30 日（火）～ 12 月 21 日（日）

貸与期間：9 月 19 日（金）～ 12 月 21 日（日）

貸与作品：

作家名	作品名	分 類	員 数
斎藤 真一	杉本キクエ旅姿 杉本家瞽女【越後瞽女日記】	油彩画	額装
斎藤 真一	瞽女 キクエと桜	油彩画	額装
斎藤 真一	待合所にて「瞽女」【越後瞽女日記】	油彩画	額装
斎藤 真一	お春の祈り【お春瞽女物語り】	油彩画	

展覧会名：常設展第四期「斎藤真一が描いた瞽女」コーナー

会 期：12月23日（火）～3月22日（日）

貸与期間：12月11日（木）～3月22日（日）

貸与作品：	作家名	作品名	分 類	員 数
	斎藤 真一	三人の瞽女 冬の旅支度【越後瞽女日記】	油彩画	額装
	斎藤 真一	西頸城 能生の駅・待合い室にて【越後瞽女日記】	油彩画	額装
	斎藤 真一	西頸城の瞽女	油彩画	額装

②瞽女ミュージアム高田

展覧会名：瞽女ミュージアム高田 冬の企画展「高田瞽女 冬の旅」

会 期：1月10日（土）～2月22日（日）

会 場：瞽女ミュージアム高田

貸与期間：1月9日（金）～2月25日（水）

貸与作品：	作家名	作品名	分 類	員 数
	斎藤 真一	三人瞽女	油彩画	額装
	斎藤 真一	明星 妙高谷	油彩画	額装

③滋賀県立美術館

展覧会名：企画展「おさんば展 空也上人から谷口ジローまで」

会 期：9月20日（土）～11月16日（日）

会 場：滋賀県立美術館

貸与期間：9月1日（月）～11月28日（金）

貸与作品：	作家名	作品名	分 類	員 数
	小林 古径	丘	日本画	1面
	モーリス・ユトリロ	クレミューの教会	油彩画	1面

(1) 講演会・講義講師

団体名	日時	内容	講師	参加者数
教員女性管理職退職者の会（まさご会）	7月13日(日) 15:00～16:00	小林古径の生涯と作品	笹川修一	75人
上越教育大学（非常勤講師）	①5月11日(日) 13:00～17:00 ②5月17日(土) 9:00～17:00 ③7月8日(火) 15:00～17:00	伝統絵画表現と鑑賞（集中講義）	笹川修一	8人
上越教育大学（非常勤講師）	11月21日(金) 13:00～14:30	教科内容構成特論	笹川修一	5人
上越教育大学（非常勤講師）	1月30日(金) 13:00～14:30	教科内容構成特論発表講評	笹川修一	10人

(2) 依頼原稿執筆

団体名・書籍名等	掲載日	内容
上越タイムス紙上連載 「写真家・濱谷浩 雪国から世界へ」	①6月3日(火) ②6月4日(水) ③6月5日(木) ④6月6日(金) ⑤6月7日(土)	「濱谷浩展」作品紹介（全5回） 執筆：市川高子
小林古径記念美術館友の会だより 37号表紙	令和7年8月発行	古径作品鑑賞シリーズ③⑦「大仏殿」 執筆：笹川修一
上越タイムス紙上連載 「美の中の「こわい」見つけて」	①9月10日(水) ②9月11日(木) ③9月12日(金) ④9月13日(土) ⑤9月14日(日)	「これってこわい？展」作品紹介（全5回） 執筆：上村聡子①④ 伊藤舞実②③⑤
高田文化協会『文芸たかだ』399号（2025-9）	9月25日(木)発行	頸城漫語「筆がつなぐ、美の縁」 「梶田半古から古径・土牛へ」紹介 執筆：笹川修一
新潟日報紙上記事展覧会へようこそ 「梶田半古から古径・土牛へ」	11月15日(土)	執筆：笹川修一
上越タイムス紙上連載「受け継がれた芸術性」	①11月16日(日) ②11月17日(月) ③11月18日(火) ④11月19日(水) ⑤11月20日(木)	「梶田半古から古径・土牛へ」作品紹介（全5回） 執筆：笹川修一
高田文化協会『文芸たかだ』403号（2026-5）	5月25日(月)発行	「生誕100年 舟見俊二展」紹介 執筆：市川高子
小林古径記念美術館友の会だより 38号表紙	令和8年3月発行	古径作品鑑賞シリーズ③⑧「牡丹」 執筆：笹川修一

(3) 展覧会図録・小冊子作成

書籍名等	発行日	編集担当	執筆内容
『梶田半古から古径・土牛へ』 （発行：小林古径記念美術館）	令和7年10月発行	笹川修一	笹川修一「各章解説」「作品解説」「作家略年譜」
『生誕100年 舟見俊二 ストライプの彼方へ』 （発行：小林古径記念美術館）	令和8年3月発行	市川高子	市川高子「各章解説」「舟見俊二 略年譜」 「舟見俊二 実験と創造の旅」

(4) 展覧会調査及び作家作品調査

内容	調査日	担当	場 所
内田邦夫作品調査	4月25日(金)	笹川修一 市川高子	所蔵先（上越市内）
小林古径等作品調査	4月25日(金)	笹川修一	所蔵先（上越市内）
小杉放菴作品調査	5月8日(木)	笹川修一	所蔵先（上越市内）
舟見俊二作品調査	5月15日(木)	市川高子	所蔵先（上越市内）
舟見俊二作品調査	5月21日(水)	市川高子	所蔵先（上越市内）
小杉放菴作品調査	5月21日(水)	笹川修一	所蔵先（妙高市）
舟見俊二作品調査	5月28日(水)	市川高子	所蔵先（上越市内）
小杉放菴作品調査	6月10日(火)	笹川修一	小杉放菴記念日光美術館
舟見俊二作品調査	6月12日(木)	市川高子	所蔵先（上越市内）
小杉放菴作品調査	6月12日(木)	笹川修一	糸魚川歴史民俗資料館
舟見俊二作品調査	6月18日(水)	市川高子	所蔵先（上越市内）
小林古径等作品調査	6月18日(水)	笹川修一	所蔵先（上越市内）
小林古径等作品調査	6月29日(日)	笹川修一	所蔵先（上越市内）

舟見儉二作品調査	7月10日(木)	市川高子	所蔵先(上越市内)
令和8年度企画展調査	7月12日(土)	笹川修一	濱谷浩写真資料館
舟見儉二作品調査	7月23日(水)	市川高子	所蔵先(上越市内)
学校所蔵資料調査	7月28日(月)	笹川修一	城西中、大和小、八千浦小、八千穂中
学校所蔵資料調査	7月31日(木)	笹川修一	大潟町小、三郷小
学校所蔵資料調査	8月1日(金)	笹川修一	大潟町中、南本町小
舟見儉二作品調査	8月8日(金)	市川高子	所蔵先(上越市内)
舟見儉二作品調査	8月18日(月)	市川高子	所蔵先(妙高市)
舟見儉二作品調査	8月22日(金)	市川高子	所蔵先(上越市内)
舟見儉二展調査	9月4日(木)	市川高子	関係者宅(上越市内)
舟見儉二展調査	9月28日(日)	市川高子	関係者宅(長岡市)
舟見儉二展調査	10月14日(火)	市川高子	関係者宅(上越市内)
舟見儉二作品調査	10月15日(水)	市川高子	所蔵先(上越市内)
舟見儉二展調査	10月16日(木)	市川高子	関係者来館
前山忠作品調査	10月23日(木)	伊藤舞実	燕市
舟見儉二作品調査	10月24日(金)	市川高子	所蔵先(上越市内)
舟見儉二作品調査	11月13日(木)	市川高子	所蔵先(上越市内)
舟見儉二作品調査	12月4日(木)	市川高子	所蔵先(上越市内)
舟見儉二展調査	1月7日(水)	市川高子	東京文化財研究所
令和8年度企画展調査	3月24日(火)	笹川修一	所蔵先(東京都)

(5) 研究会・研修等

研修名	日 時	担当	会場
新潟県博物館協議会総会	4月23日(水)	笹川修一	ホテル日航新潟(新潟市)
第5回一般社団法人全国美術館会議社員総会	6月4日(水)	笹川修一	iichiko 総合文化センター(大分市)
全国美術館会議小規模館研究部会第58回会合	6月5日(木)	笹川修一	iichiko 総合文化センター(大分市)
新潟日報美術振興財団評議員会	6月16日(月)	笹川修一	新潟日報社(新潟市)
美術館を活用した鑑賞教育の充実のための 指導者研修	8月4日(月) 8月5日(火)	伊藤舞実	京都国立近代美術館京都テルサ
全国美術館会議小規模館研究部会 第59回会合・研修会	11月6日(木)・7日(金)	笹川修一	ニセコ町民センター (北海道虻田郡ニセコ町)
日本建築史研究会シンポジウム 吉田五十八生誕130年・没後50年	12月13日(土)	笹川修一	オンライン
全国美術館会議第40回学芸員研修会 (小規模館研究部会担当)	2月26日(木)・27日(金)	笹川修一	鎌倉芸術館(鎌倉市)
新潟日報美術振興財団評議員会	3月13日(金)	笹川修一	新潟日報社(新潟市)
新潟県博物館協議会令和7年度役員会	3月23日(月)	笹川修一	知足美術館(新潟市)

(5) 他機関への事業協力等

事業名	機関名	内容	担当
上越市教育コラボ2025 学び愛フェスタ 「学び舎から広がる 上越の文化と誇り」	上越市教育委員会教育総務課	市内小中学校所蔵作品の展示における 企画内容協力作品借用・返却・展示作業	笹川修一
全国美術館会議小規模館研究部会	全国美術館会議	第40回学芸員研修会の企画・開催	笹川修一

(1) ラジオ出演

番組名	内容	放送日	担 当
広報Ｊステーション	これってこわい？展	7月15日(火)	上村聡子
広報Ｊステーション	梶田半古展	9月22日(月)	伊藤舞実
広報Ｊステーション	どうぶつえんへいこう！展	1月30日(金)	上村聡子
Podcast たかだからじお	地域×芸術の分野ではどんなことができるだろう？	2月5日(木)	笹川修一

(4) 美術館ホームページアクセス数と SNS 投稿数

	ホームページ	Facebook		Instagram	
	ページビュー数	投稿件数	一番反応のあった投稿（閲覧数）	投稿件数	一番反応のあった投稿（閲覧数）
4月	4,781回	9件	中・高校生のための写真ワークショップ 参加者募集中（380）	9件	濱谷浩展 若い人たちにもおススメです（1,849）
5月	7,131回	7件	山つつじ満開です（729）	7件	国際博物館の日を記念して、 施設を無料開放します（5,187）
6月	3,793回	2件	夏の庭 お楽しみください（215）	2件	展示替えのため休館中です（2,510）
7月	6,709回	3件	明日は美術館ファミリー・デー！（293）	4件	明日は美術館ファミリー・デー！（4,748）
8月	7,752回	3件	日曜美術館アートシーンで紹介されました（612）	9件	「終戦の日の太陽」特別展示します（2,527）
9月	4,799回	1件	10月11日は作品鑑賞会！（619）	1件	10月11日は作品鑑賞会！（2,169）
10月	3,552回	4件	梶田半古展講演会申し込み受付中です（338）	5件	梶田半古展見どころ1（1,304）
11月	3,462回	9件	作品鑑賞会を行います（409）	14件	紅葉情報11月21日（1,576）
12月	2,642回	2件	BONBONを作ろう！参加者募集（137）	4件	BONBONを作ろう！参加者募集（2,125）
1月	3,373回	2件	大雪だけど、開館してます（288）	3件	大雪だけど、開館してます（2,554）
2月	4,733回	6件	雨が降るなか、点灯頑張っております（509）	9件	2月11日はキャンドルナイト！（4,874）
3月	4,267回	4件	「生誕100年 舟見俊二 ストライプの彼方へ」開幕！（528）	5件	「生誕100年 舟見俊二 ストライプの彼方へ」開幕！（1,418）

※現在のフォロワー数：Facebook273人、Instagram574人（令和8年3月15日時点）

(5) 取材協力

メディア名	内容	取材日	担当
NHK E テレ	日曜美術館 アートシーン「濱谷浩展」	5月4日(日)	市川高子
NHK E テレ	日曜美術館 アートシーン「これってこわい？」	8月17日(日)	上村聡子 伊藤舞実
NHK 新潟放送局	NHK ニュース内「どうぶつえんへいこう！」	1月8日(木)	上村聡子
JCV 上越ケーブルビジョン	地域まるっと生放送 Jump「キャンドルナイト 2026」	2月10日(火)	伊藤舞実

管 理 運 営 事 業

- 小林古径記念美術館施設概要
- 美術館組織
- 小林古径記念美術館友の会
- 小林古径記念美術館条例
- 小林古径記念美術館条例施行規則
- 運営委員会
- 収集委員会
- 画室貸出実績

■小林古径記念美術館施設概要

1 施設概要等

館 名：小林古径記念美術館（館長：笹川修一）
住 所：〒943-0835 新潟県上越市本城町 7-1（高田城址公園内）
電 話：025-523-8680
ファックス：025-530-6033
e-mail：kokei@city.joetsu.lg.jp

開 館：平成 13 年 4 月 29 日（小林古径邸）
平成 14 年 4 月 1 日（旧小林古径記念美術館）
令和 2 年 10 月 3 日（新小林古径記念美術館 開館）
構 造：鉄筋コンクリート造、平屋建て（一部 2 階建て）
敷地面積：5,136.99㎡
延床面積：809.67㎡（美術館）／419.04㎡（小林古径邸・画室）

2 空調設備について

①屋内空調設定値

	展示室		一時保管庫	
	夏期	冬期	夏期	冬期
温 度	23 ± 3℃	22 ± 3℃	20 ± 1℃	20 ± 1℃
湿 度	55 ± 3%	55 ± 3%	55 ± 1%	55 ± 1%

- ②熱源設備 電気式パッケージエアコン
③空調和設備 展 示 室…空調機による単一ダクト方式
一時保管庫…空調機による単一ダクト方式

3 トラックヤード

- ・美術品専用車 1 台分のトラックヤードあり
- ・4 t ロングタイプのトラックを格納可能

4 照明設備について

①調光機能…あり

②使用光源

	展示室・展示ケース	スポットライト
光源	LED ダウンライト (展示ケース内は調光・調色)	LED スポットライト (個別調光)
機種		ERCO 72153.025・72065.025 CCS MUSEUM COB SPOTLIGHT (自然光タイプ)

③照明の設定値（計画値）

	展示室	収蔵庫
照度	0 ～ 300lx	150 ～ 200lx

5 警備状況について

①警備体制

- 開館中…会場監視員及び職員による監視
監視カメラによるモニター監視と常時録画
異常時には警備保障会社に自動連絡
閉館中…防犯センサー及び画像センサーによる監視
画像センサーにより異常時の状態画像確認と保存を行う（録画保存）
異常時にはスピーカーでの音声威嚇が可能

②展示室の施錠状況

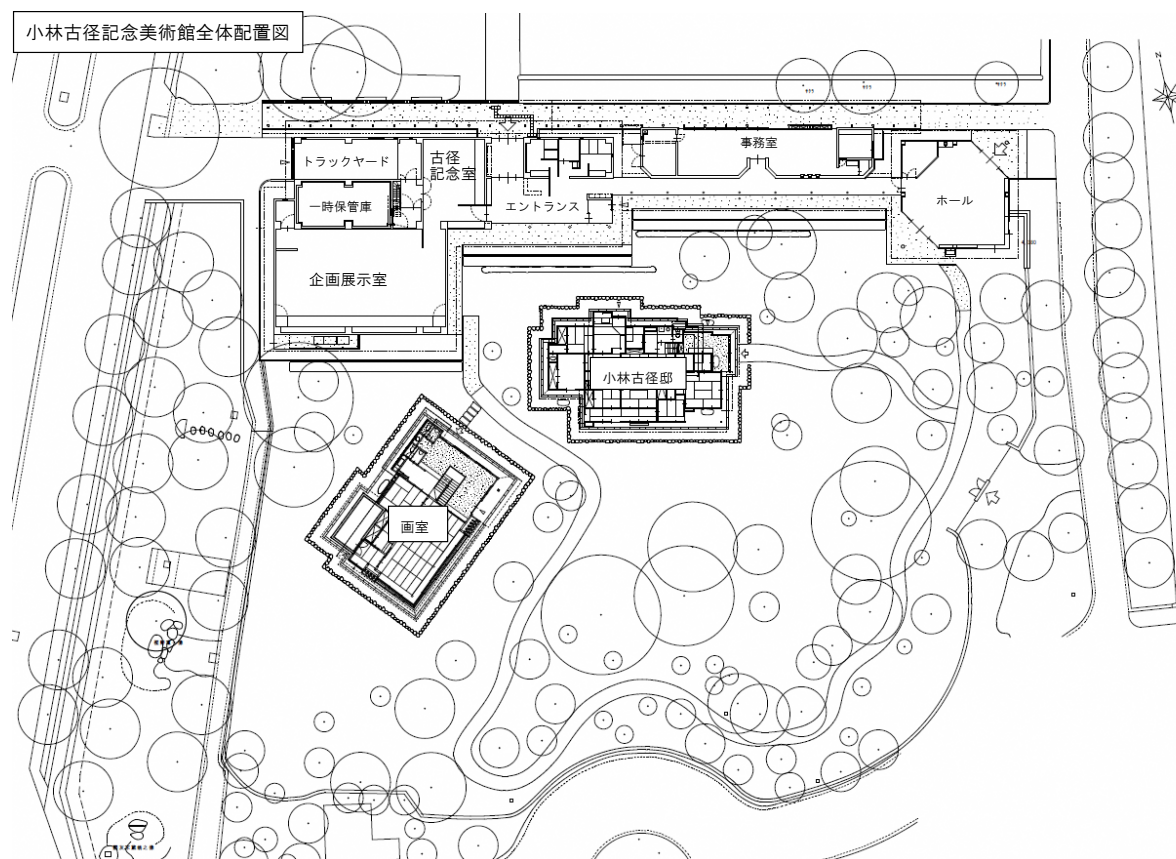
- 展示室の出入口は施錠可能

6 消防設備について

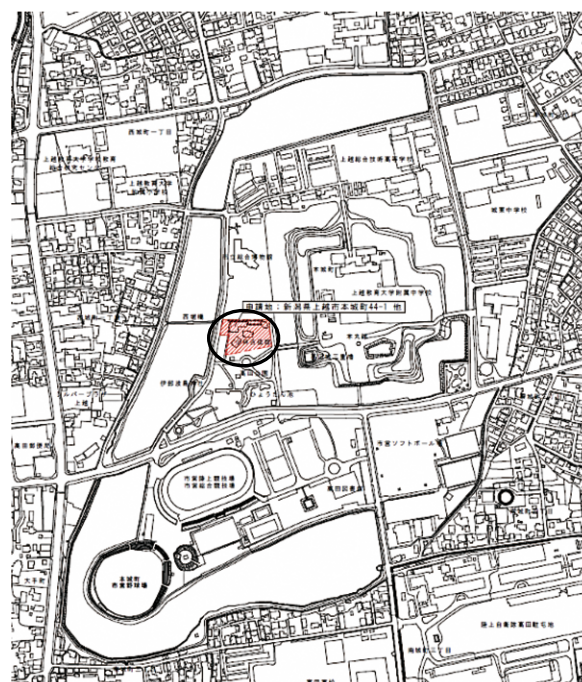
消火設備の種類

展示室	一時保管庫	その他
二酸化炭素消火器	パッケージ型ガス消火設備（ハロン 1301）	粉末消火器

※法令に基づく消火設備を設置しています（自動火災報知設備あり）



小林古径記念美術館位置図



■美術館組織

上越市教育委員会 文化行政課 小林古径記念美術館

館長 — 副館長 — 資料係
学芸員
事務職員

小林古径記念美術館運営委員会

上越市美術資料収集委員会

職員（令和7年度）

役職	氏名
館長	笹川 修一
副館長	小暮 ひろ子
資料係長	市川 高子
主任（学芸員）	上村 聡子
主任（学芸員）	伊藤 舞実
事務職員（会計年度任用職員）	保高 眞莉子
事務職員（会計年度任用職員）	平山 ゆり（令和7年4月1日～4月30日）

■小林古径記念美術館友の会

会長：植木 哲夫 副会長：佐野 隆

目的：友の会は、上越市出身の日本画家・小林古径の芸術に共感する人々が集まり、広く芸術に親しみ、会員同士の交流を図る。
あわせて小林古径記念美術館の事業に協力する。

○年会費 一般会員 ……2,000 円
学生会員 ……500 円
事業所会員 ……10,000 円

○会員特典

- ・美術館に年2回、無料で入館
- ・「友の会だより」を年2回送付
- ・各種イベントのご案内
- ・図録・グッズを割引価格で購入
- ・美術館めぐりやコンサートなど、友の会主催事業のご案内

○令和7年度活動記録

- ・友の会総会、ミニコンサート 4月26日（土）
演奏：丸山瑞生（クラリネット）、上野裕子（ピアノ）
- ・美術館巡り 9月18日（木）
行先：富山県水墨美術館、富山市ガラス美術館ほか
- ・美術講座
3月22日（土）「講演会 濱谷浩 人と作品」参加
10月25日（土）「講演会 梶田半古の芸術 画家として、師として」参加
- ・地域の文化・芸術に親しむ活動事業
11月15日（土）「海への祈り～北前船寄港地・直江津～」講師：草間敬子（上越市教育委員会文化行政課）
- ・友の会だよりの発行
第37号（令和7年8月発行）、第38号（令和8年3月発行）

■小林古径記念美術館条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、本市出身の日本画家小林古径及び本市にゆかりのある美術作家に関連する作品等を広く紹介するとともに、市民の教育、学術及び文化の向上を図るため、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
小林古径記念美術館	上越市本城町7番1号

(施設)

第3条 小林古径記念美術館(以下「美術館」という。)の施設は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 美術館本館
- (2) 小林古径邸
ア 本邸
イ 画室
- (3) 庭園

(事業)

第4条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 次に掲げる資料の収集、保管及び展示に関すること。
ア 小林古径及び本市にゆかりのある美術作家に関する資料
イ その他美術館の運営及び調査研究に必要な資料
- (2) 前号ア及びイに掲げる資料(以下「資料」という。)に関する学術調査及び研究を行うこと。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (4) 資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (5) 資料に関する情報の提供に関すること。
- (6) その他美術館の設置目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第5条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

- (1) 月曜日。ただし、この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その翌日
- (2) 休日の翌日
- (3) 12月29日から翌年1月3日まで

(入館の制限)

第7条 教育委員会は、他人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者その他入館が不相当と認められる者に対しては、美術館への入館を拒み、又は美術館からの退館を命ずることができる。

(利用の承認)

第8条 画室を占用して利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。承認を得た事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の承認をしない。
- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
 - (2) 美術館の施設又は設備を破損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 - (3) その他美術館の管理上支障があると認められるとき。
- 3 教育委員会は、第1項の承認に当たり、美術館の管理上必要な条件を付することができる。

(利用の承認の取消し等)

第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の承認を取り消し、又は利用を中止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 教育委員会が美術館の管理上必要と認めて行う指示に従わないとき。

(原状回復の義務)

第10条 美術館の利用者は、利用した施設及び設備を原状に復さなければならない。前条の規定により利用を中止したときも、同様とする。

(観覧料等)

第11条 美術館に入館して資料を観覧しようとする者(第8条第1項の承認を得た者で美術館本館及び本邸を観覧しないものを除く。)は別表第1に定める観覧料を、同項の承認を得た者は別表第2に定める使用料をそれぞれ納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、特別展示の資料を観覧しようとする者は、その都度市長が定める観覧料(以下「特別観覧料」という。)を納付しなければならない。
- 3 観覧料、特別観覧料又は使用料(以下「観覧料等」という。)は、美術館に入館する前又は画室の利用開始前に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、入館後又は利用開始後にその全部又は一部を納付することができる。

(年間観覧券)

第12条 市長は、利用者の利便に資するため、年間観覧券を発行することができる。

- 2 前項の年間観覧券(以下「年間観覧券」という。)の発行を受けようとする者は、別表第3に定める料金をあらかじめ納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、年間観覧券の発行後にその全部又は一部を納付することができる。
- 3 教育委員会は、偽りその他の不正の手段により年間観覧券を利用したとき又は利用するおそれがあると認めるときは、年間観覧券の利用を中止させることができる。

(観覧料等の減免)

第13条 市長は、第11条の規定にかかわらず、観覧料等について、次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額を免除し、又は減額することができる。

- (1) 市が主催する事業において画室を利用するとき。 使用料の全額
- (2) 市が共催する事業において画室を利用するとき。 使用料の50パーセントの額
- (3) その他市長が必要と認めるとき。 観覧料等のうち必要と認める額

(観覧料等及び年間観覧券の料金の還付)

第14条 納付した観覧料等は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額を還付する。

- (1) 第8条第1項の承認を得た者が利用の取消しを利用日前3日までに申し出て承認されたとき。使用料の70パーセントの額
- (2) 市長が災害その他特別の事情により還付することを適当と認めるとき。 観覧料等のうち適当と認める額

2 納付した年間観覧券の料金は、還付しない。ただし、市長が特に必要と認めるときは、納付した額の全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償)

第15条 故意又は過失により美術館の施設、設備、資料等を破損し、汚損し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和2年10月3日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(小林古径邸条例及び小林古径記念美術館条例の廃止)

- 2 次に掲げる条例は、廃止する。
- (1) 小林古径邸条例(平成13年上越市条例第5号)
 - (2) 小林古径記念美術館条例(平成17年上越市条例第8号)
- 別表第1(第11条関係)

区 分	個 人	団体(20人以上の団体)
一 般	510円	1人につき410円
高校生・中学生・小学生	260円	1人につき210円

備考 市内の小学校の児童及び中学校の生徒は、無料とする。

別表第2(第11条関係)

施設名	使用料(1時間につき)
画 室	1,020円

備考

- 1 営利又は営業上の目的で利用する場合の使用料は、定額使用料の200パーセントの額とする。
- 2 利用時間が1時間に満たないときは、1時間として計算する。

別表第3(第12条関係)

区 分	年間観覧券の料金
一 般	1,500円
高校生・中学生・小学生	700円

備考

- 1 年間観覧券の料金には、特別観覧料を含むものとする。
- 2 年間観覧券の有効期間は、年間観覧券の発行の日から同日から起算して1年を経過する日までとする。
- 3 小学生及び中学生は、市外の小学校の児童及び中学校の生徒に限る。
- 4 この表に定める区分の適用については、年間観覧券の発行の日現在における区分によるものとする。

■小林古径記念美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、小林古径記念美術館条例（令和2年上越市条例第32号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(資料の貸出し)

第2条 調査研究等のため、教育委員会が特に必要と認める場合は、資料の貸出しを行うことができる。

(資料の寄贈及び寄託)

第3条 小林古径記念美術館（以下「美術館」という。）に資料の寄贈又は寄託をすることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、教育委員会の承認を得なければならない。

3 資料の寄贈又は寄託に要する経費は、原則として寄贈者又は寄託者の負担とする。

4 資料の寄託を受けたときは、受託証を交付する。

(寄託資料の取扱い)

第4条 寄託資料は、美術館の資料と同一の取扱いをするものとする。ただし、第2条の規定により貸出しを行うときは、寄託者の承認を得なければならない。

(寄託物の免責)

第5条 教育委員会は、寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損失を受けても、その責めを負わない。

(利用の承認)

第6条 条例第8条第1項の規定により画室の占用利用の承認を得ようとする者は、小林古径記念美術館画室占用利用承認申請書（第1号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の申請書の提出があったときは、これを審査し、承認の可否を決定承認したときは、小林古径記念美術館画室占用利用 通知書（第2号様式）により通知する 却下ものとする。

(禁止行為)

第7条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 資料に触れること。
- (2) 資料の近くで万年筆、ボールペン等を使用すること。
- (3) 指定された場所以外で火気を使用すること。
- (4) 指定された場所以外で飲食をすること。
- (5) 次に掲げる行為で許可を受けないもの
 - ア 物品を販売し、若しくは陳列し、又は広告類を掲示し、若しくは配布すること。
 - イ 販売及び書籍等への掲載を目的として撮影すること。
- (6) 指定された場所以外に立ち入ること。
- (7) 美術館内の風紀秩序を乱し、及び他の利用者に迷惑を及ぼす行為
- (8) 騒音、悪臭等を伴い美術館本来の機能を妨げるおそれのある行為
- (9) その他美術館の管理上支障があると認められる行為

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、令和2年10月3日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(小林古径記念美術館条例施行規則及び小林古径邸条例施行規則の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

- (1) 小林古径記念美術館条例施行規則（平成17年上越市教育委員会規則第6号）
- (2) 小林古径邸条例施行規則（平成17年上越市教育委員会規則第7号）

小林古径記念美術館運営委員会開催要綱

(趣旨)

第1条 小林古径記念美術館における事業の充実を図るとともに、小林古径及び上越市にゆかりのある美術作家を顕彰し、当市の美術文化の発展を図るため、識見を有する人等から意見を聴取する場として、小林古径記念美術館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を開催することに関し、必要な事項を定めるものとする。

(意見を聴取する事項)

第2条 運営委員会において意見を聴取する事項は、次のとおりとする。

- (1) 小林古径記念美術館における事業の充実に関すること。
- (2) 小林古径及び上越市にゆかりのある美術作家の顕彰に関すること。
- (3) 上越市の美術文化の発展に関すること。

(意見を聴取する対象者)

第3条 運営委員会において意見を聴取する対象者は、次のとおりとする。

- (1) 美術文化について識見を有する人
- (2) 学校教育及び社会教育に精通する人
- (3) 公募に応じた市民
- (4) その他教育委員会が必要と認める人

(庶務)

第4条 運営委員会の庶務は、小林古径記念美術館において処理する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、運営委員会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則 この要綱は、平成16年4月23日から実施する。

附 則 この要綱は、平成16年6月1日から実施する。

附 則 この要綱は、平成17年1月1日から実施する。

附 則 この要綱は、令和2年10月3日から実施する。

附 則 この要綱は、令和6年4月1日から実施する。

上越市美術資料収集委員会開催要綱

(趣旨)

第1条 上越市における美術品及び美術に関する資料（以下「美術資料」という。）の収集の適正を図るため、識見を有する人等から意見を聴取する場として、上越市美術資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を開催することに関し、必要な事項を定めるものとする。

(意見を聴取する事項)

第2条 教育委員会は、次に掲げる美術資料を収集するときは、収集リストを作成し、収集委員会に意見を聴取する。

- (1) 小林古径の作品
- (2) 小林古径に関連する作品及び資料
- (3) 上越市又は上越市ゆかりの美術の流れを展望することができる作品
- (4) 近・現代美術の展望を特徴づける国内外の作品
- (5) その他美術資料として必要な資料

2 前項の場合において、収集委員会から意見を聴取する事項は、次のとおりとする。

- (1) 美術資料の選定に関すること。
- (2) 美術資料の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会が必要と認めること。

(意見を聴取する対象者)

第3条 収集委員会において意見を徴収する対象者は、美術に関する専門家とする。

(守秘義務)

第4条 収集委員会の参加者は、収集委員会において知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第5条 収集委員会の庶務は、小林古径記念美術館において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、収集委員会の開催に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則 この要綱は、平成7年4月1日から実施する。

附 則 この要綱は、平成17年1月1日から実施する。

附 則 この要綱は、平成29年4月1日から実施する。

附 則 この要綱は、令和3年4月1日から実施する。

附 則 この要綱は、令和6年4月1日から実施する。

■小林古径記念美術館運営委員会

【委員名簿】

1 委員

選出区分	氏 名	役職等
美術文化について識見を有する人	高橋 信雄	小林古径保存会
	川崎 日香湊	日本画家
学校教育及び社会教育に精通する人	五十嵐 史帆	上越教育大学教授（美術教育）
	横尾 夏奈子	東頸中学校教諭（美術）
公募に応じた市民	宮越 啓子	

2 任期

令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年間）

令和7年度小林古径記念美術館運営委員会

日時：令和8年3月16日（月）

場所：小林古径記念美術館（小林古径邸画室）

■上越市美術資料収集委員会

【委員名簿】

1 委員

選出区分	氏名	役職等
小林古径及び日本画について精通している人	洞谷 亜里佐	上越教育大学教授（日本画） 日本美術院所属
新潟県内の美術作家について精通している人	松矢 国憲	新潟県立近代美術館専門学芸員
上越市内の美術作家について精通している人	小関 育也	上越美術協会会長
美術作品の教育利用に精通している人	池上 秀敏	元新潟県美術教育連盟会長
美術の動向や美術館の作品収集に精通している人	伊藤 将和	東京藝術大学准教授

2 任期

令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年間）

令和7年度上越市美術資料収集委員会

期日：令和6年2月9日（月）

会場：小林古径記念美術館（二ノ丸ホール）